社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和06年01月22日

計画の名称	湯浅町における暮らしを守る雨水対策の推進（防災・安全）　（重点計画）												
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	湯浅町												
計画の目標	管渠の整備やポンプ施設の改築、雨水出水区域図等の作成を行うことにより、浸水被害の軽減を図り、町民の暮らしを守る防災環境の形成を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	837	A	837	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	計画期間内における都市浸水対策達成率を56%（H31）から75%（H35）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）	56%	68%	75%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000537668

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	湯浅町	直接	－	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場	栖原P場　排水能力　3.95m３/s×２台	湯浅町	■	■				810		策定済
	A07-002	下水道	一般	湯浅町	直接	－	管渠（雨水）	改築	雨水管渠	雨水管　□3200×1500～□2400×2400　L＝300m　U2600×2400　L＝30m	湯浅町		■	■	■		12		策定済
	A07-003	下水道	一般	湯浅町	直接	－	－	－	雨水出水浸水想定区域図等作成	雨水出水浸水想定区域図等作成	湯浅町					■	15	－	－
											小計						837		
											合計						837		

案件番号： 0000537668

交付金の執行状況

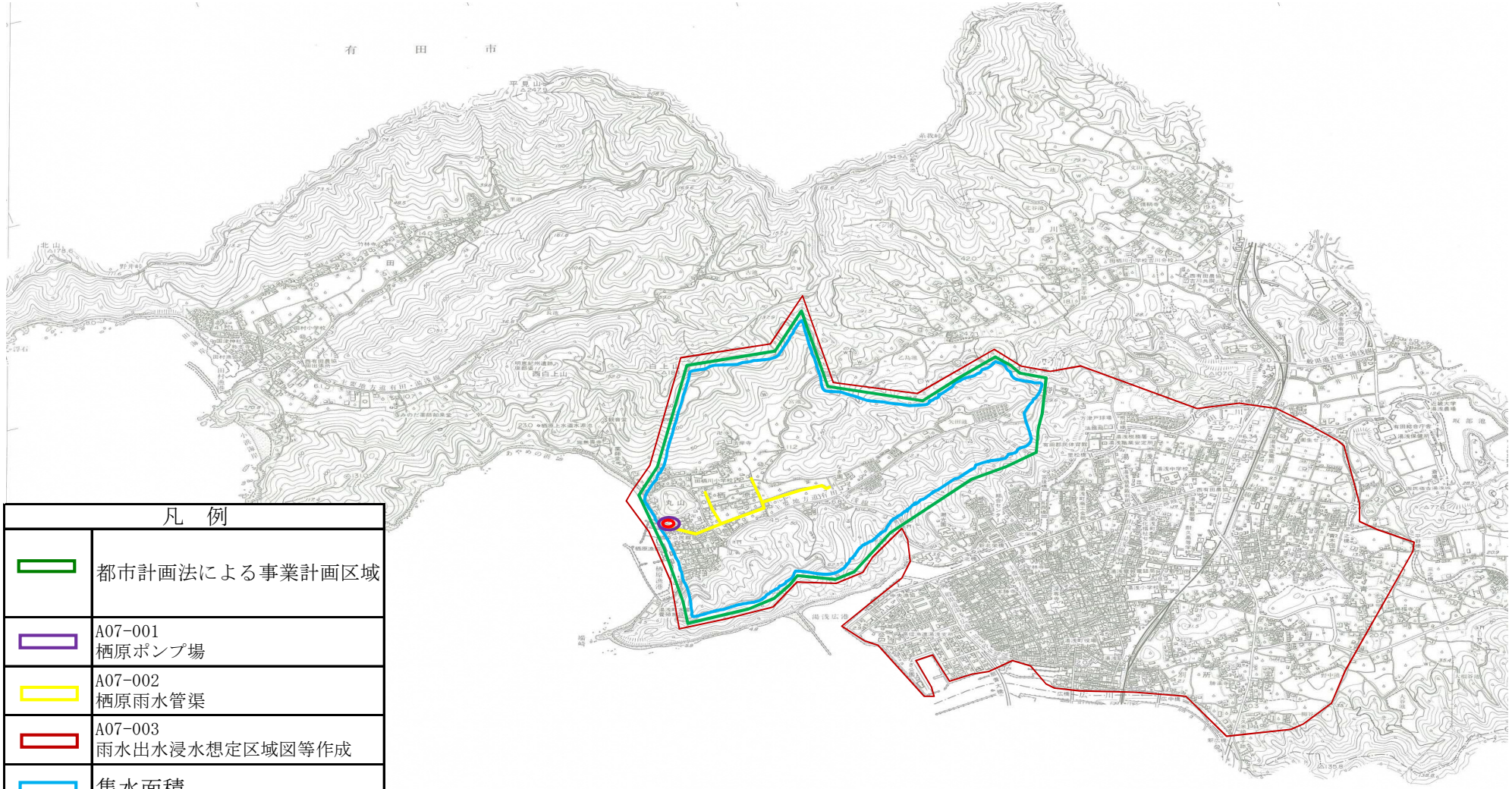
（単位：百万円）

	H31	R02	R03	R04	
配分額（a）	150	257	0	1	
計画別流用増△減額（b）	0	3	0	0	
交付額（c=a+b）	150	260	0	1	
前年度からの繰越額（d）	0	75	203	0	
支払済額（e）	75	132	203	1	
翌年度繰越額（f）	75	203	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

案件番号： 0000537668

社会資本総合整備計画図（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	1　湯浅町における暮らしを守る雨水対策の推進（防災・安全）　（重点計画）		
計画の期間	平成31年度　～　令和5年度　（5年間）	交付対象	湯浅町



事前評価チェックシート

計画の名称： 湯浅町における暮らしを守る雨水対策の推進（防災・安全）　（重点計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画との適合等　１）上位計画等と整合性が確保させている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　１）広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　２）地域の浸水状況や土地利用の状況等を踏まえた目標となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性　１）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性　１）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性　２）指標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
III.　計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III.　計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境　２）事業実施に関し、住民に対する説明が行われている。	○

案件番号：0000537668